

日産車体の環境活動

日産車体株式会社



目次

1 . 会社概要

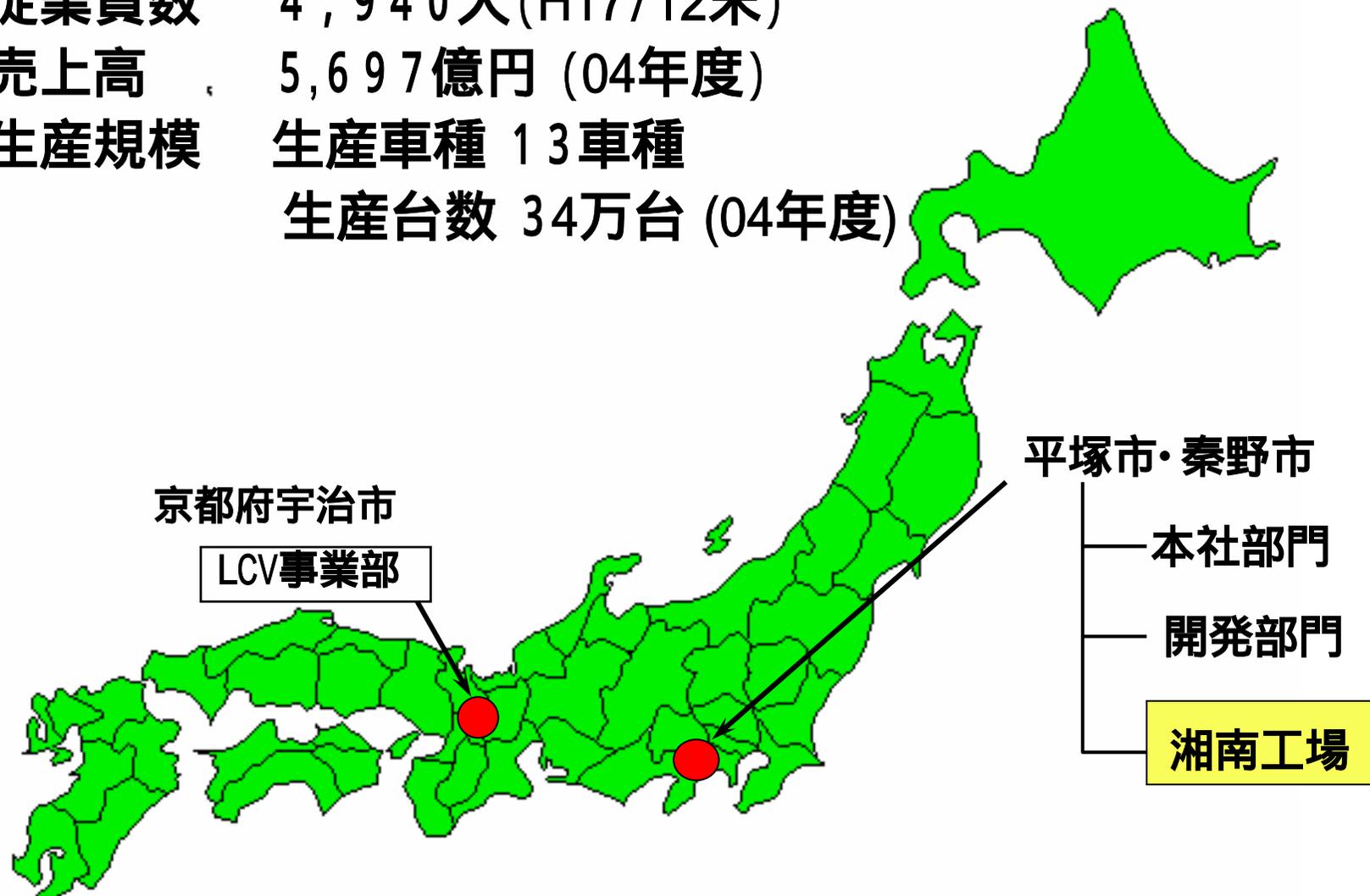
2 . 環境活動

3 . 化学物質管理

4 . 環境対話活動

1. 会社概要

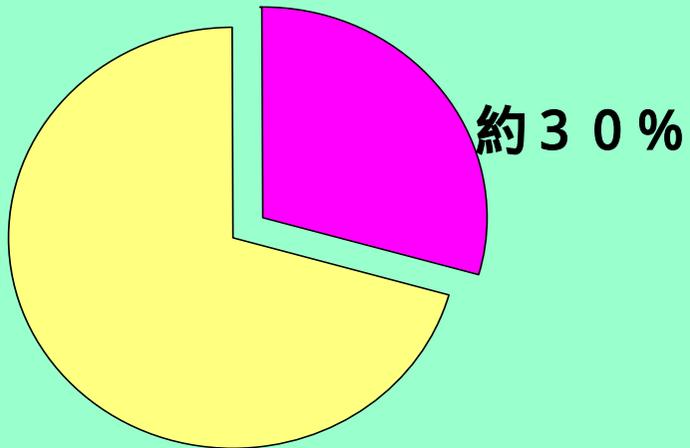
- 資本金 79億400万円
- 従業員数 4,940人(H17/12末)
- 売上高 5,697億円(04年度)
- 生産規模 生産車種 13車種
生産台数 34万台(04年度)



生産分担率 ('04年度実績)

生産車種数

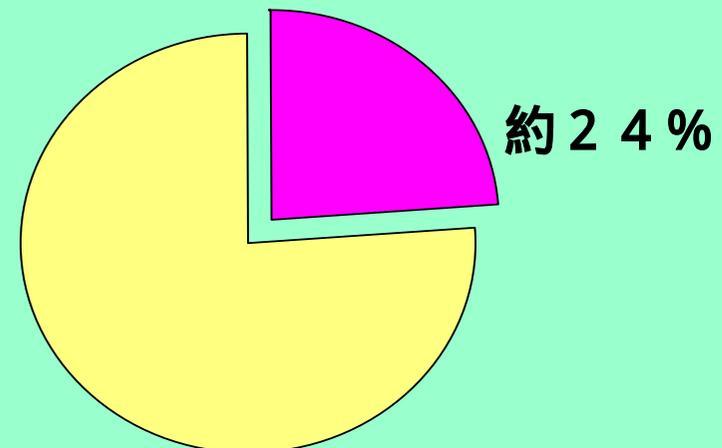
13車種



オール日産 44車種
(国内生産)

生産台数

34万台



オール日産 142万台
(国内生産)

SERENA



WING ROAD



FX45

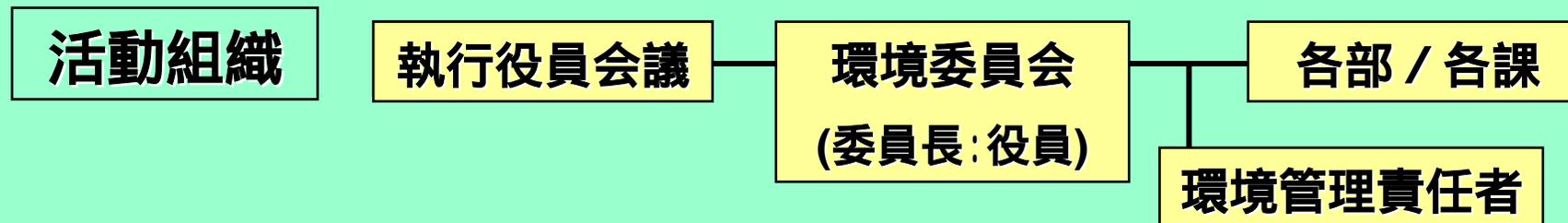


湘南工場の立地条件



市民と共生出来る都市型自動車工場の構築

2. 環境活動



活動計画

3年間の目標をローリング

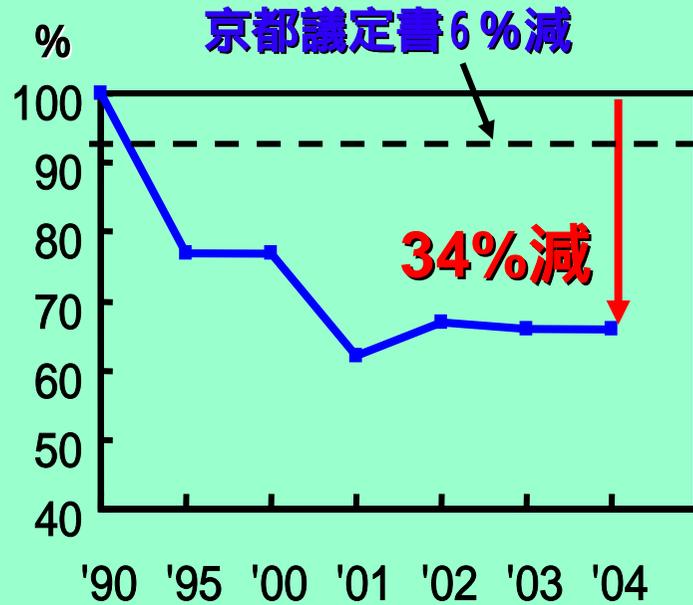
項目	2007年度目標(05年度～目標)
地球温暖化	CO ₂ 排出量86千トン以下 (‘90年度比35%減に相当)
廃棄物削減	・廃棄物焼却量1.7kg/台以下 ・直接埋立「0」の維持
化学物質削減	塗装単位面積当り VOC排出量 44g/m ² 以下
地域との共生	臭気・騒音の防止、情報開示 他

‘97/12
環境ISO認証取得



地球温暖化防止

CO2排出量



自動車工業会目標
'10年に'90年度比10%減

コ・ジェネレーションシステム



光触媒利用冷房システム

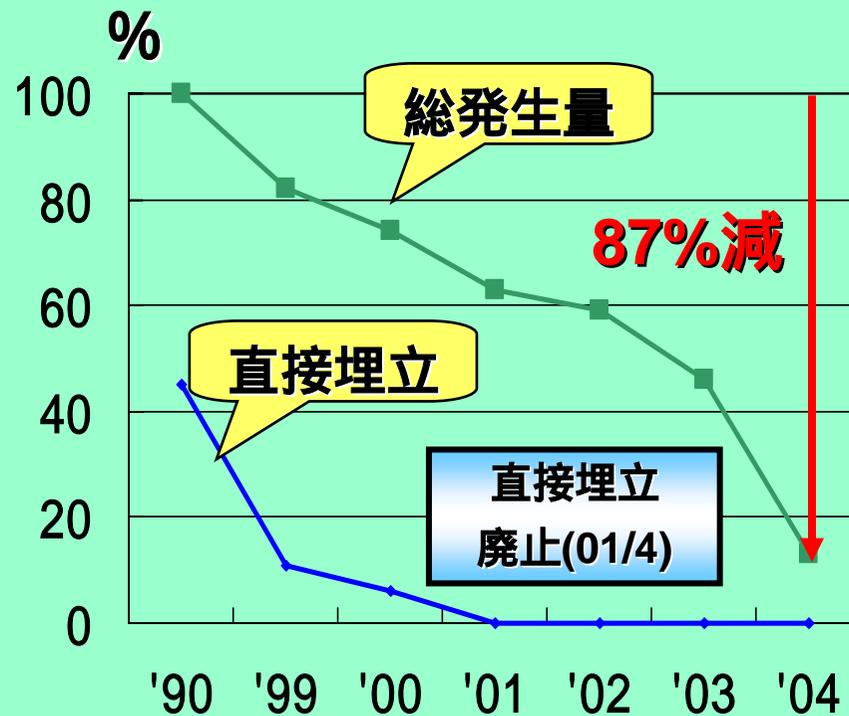


環境大臣賞受賞



廃棄物削減

台当り廃棄物発生量



リサイクル率 = 98.7 %

分別回収の実施



汚泥の乾燥とリサイクル化



地域との共生

重点活動項目

- 臭気(悪臭防止法の基準)
- 塗料ミスト(飛散ゼロ)
- 騒音(敷地境界50dB)
- 開かれた工場(市民との交流)

地域との共生 (ご迷惑をかけない為に)

脱臭装置(オープン)



消臭剤噴霧装置(ブース)



塗料ミスト防止フィルター



捕捉率99%以上

敷地境界騒音対策(二重壁)



50dB以下

地域との共生 (より良く理解していただく為に)

工場見学会(1.5万人/年)



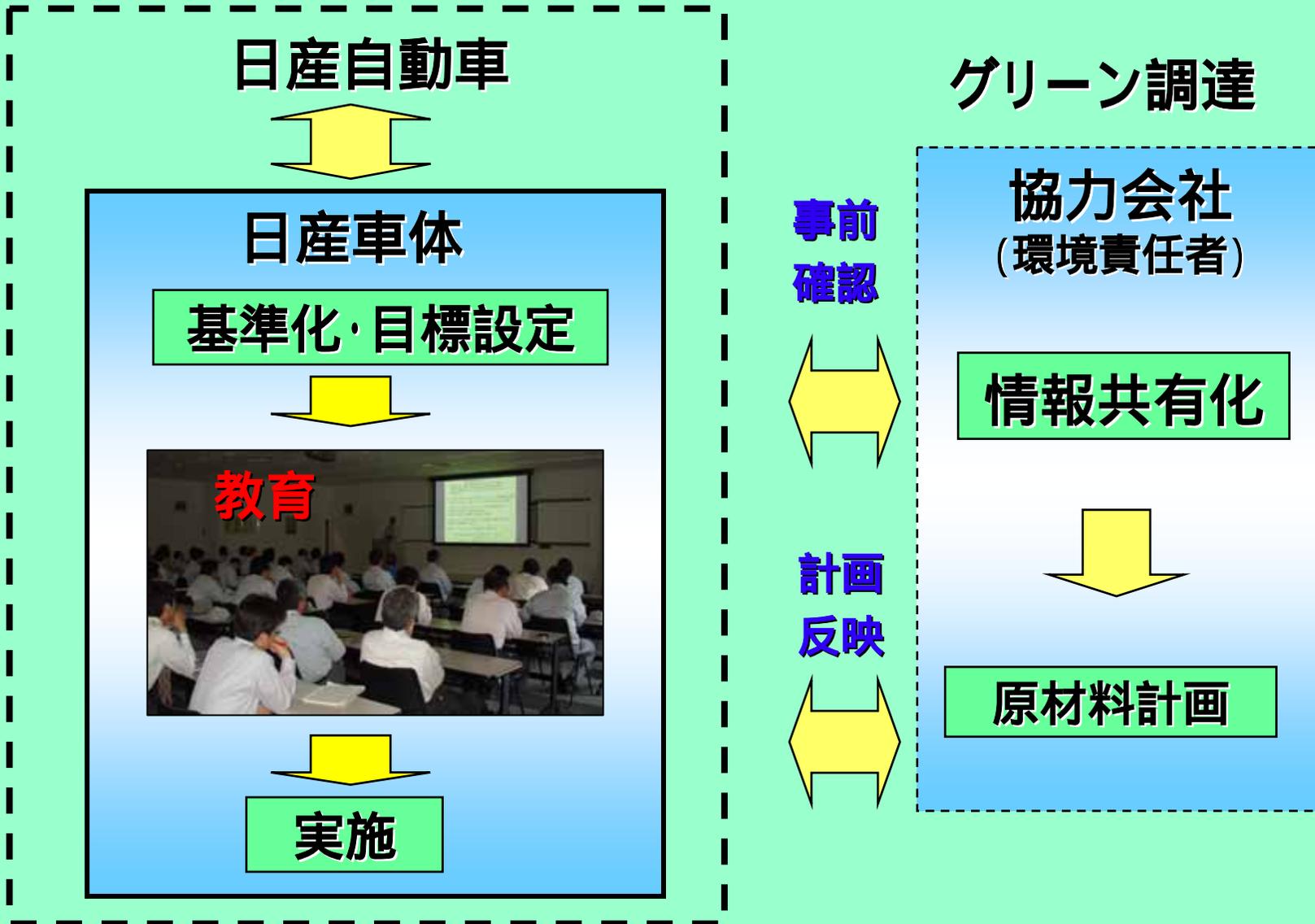
企業祭(4万人)



小学生向けパンフレット



3. 化学物質管理



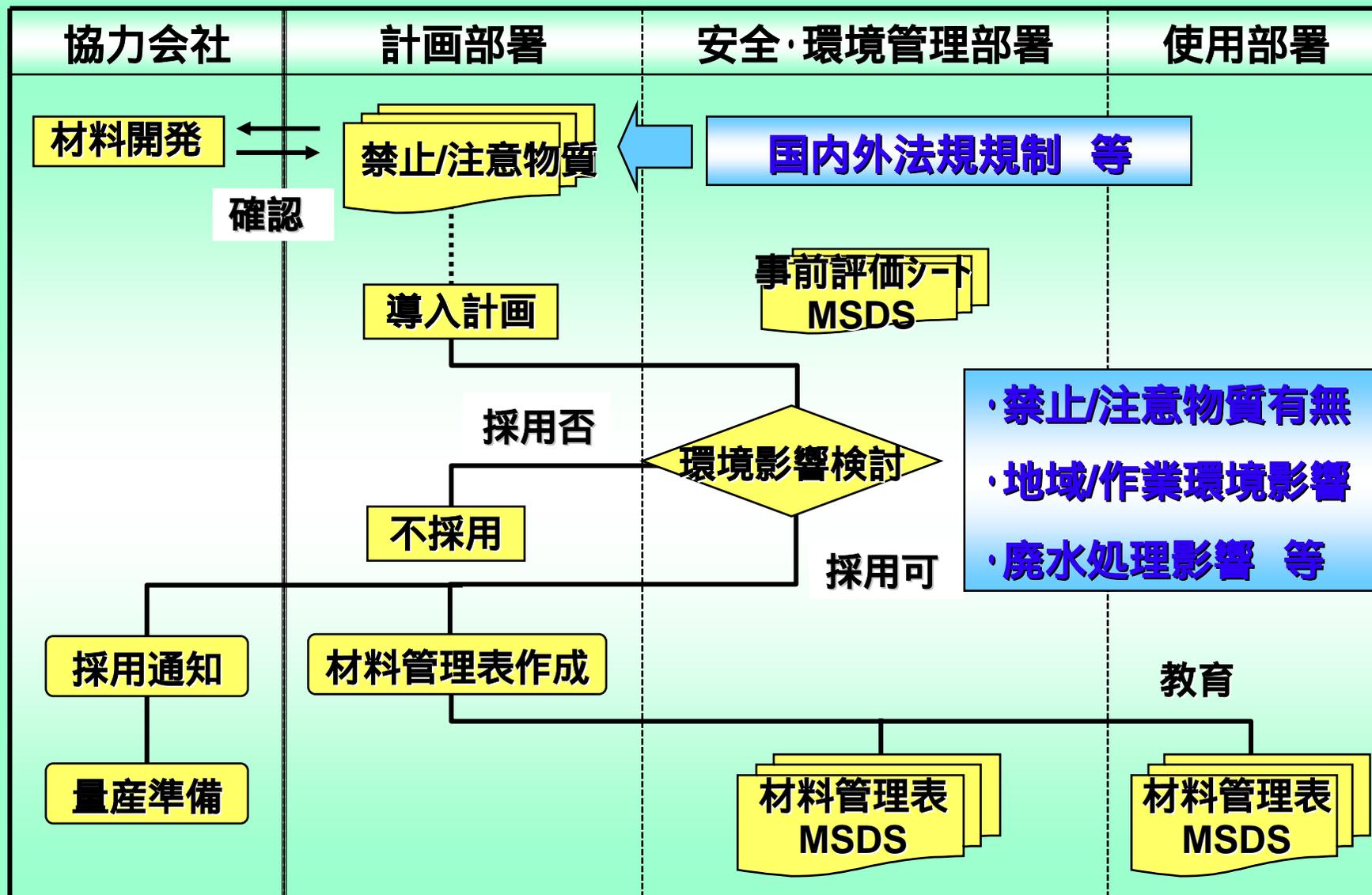
考え方と対応策

考え方	対応策
使わない	・使用禁止 / 注意物質明確化 ・新規原材料管理
増やさない	排出量の削減
漏らさない	・施設 / 作業の管理充実 ・事故対応訓練
隠さない	情報公開

考え方と対応策

考え方	対応策
使わない	・使用禁止 / 注意物質明確化 ・新規原材料管理
増やさない	排出量の削減
漏らさない	・施設 / 作業の管理充実 ・事故対応訓練
隠さない	情報公開

使わない (禁止/注意物質、新規原材料管理)



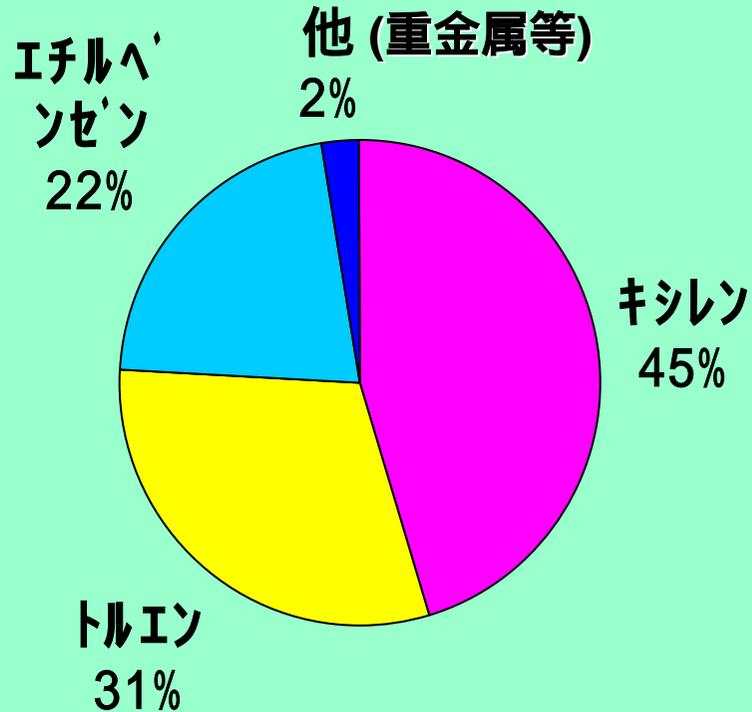
考え方と対応策

考え方	対応策
使わない	・使用禁止 / 注意物質明確化 ・新規原材料管理
増やさない	排出量の削減
漏らさない	・施設 / 作業の管理充実 ・事故対応訓練
隠さない	情報公開

増やさない (排出量の削減)

化学物質排出量

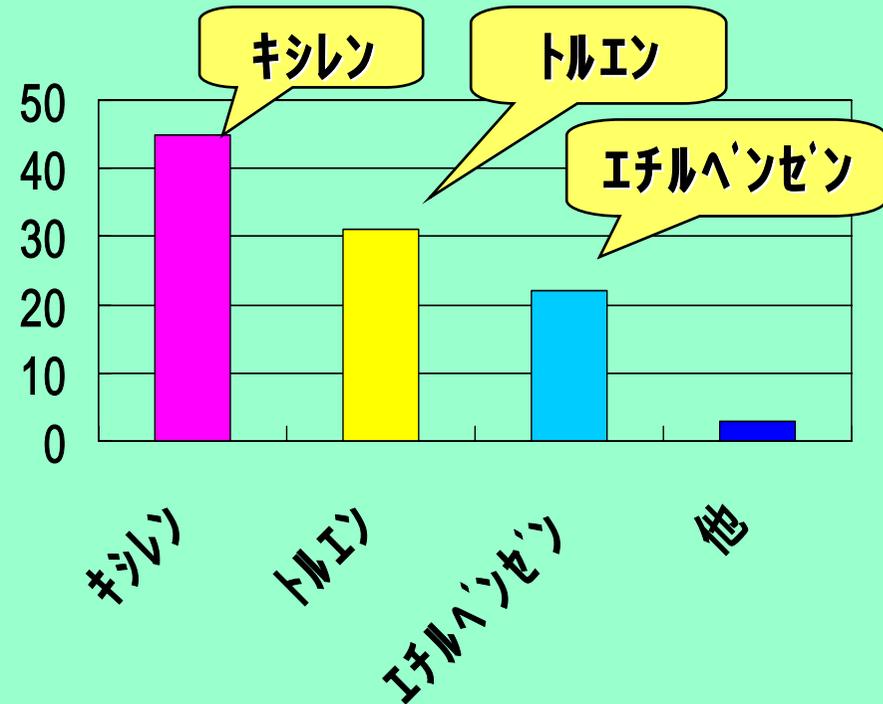
('04年度PRTRデータより)



人への影響の大きさ

排出量 × 毒性係数 (神奈川県条例)

年間換算排出量 (× 10³トン)

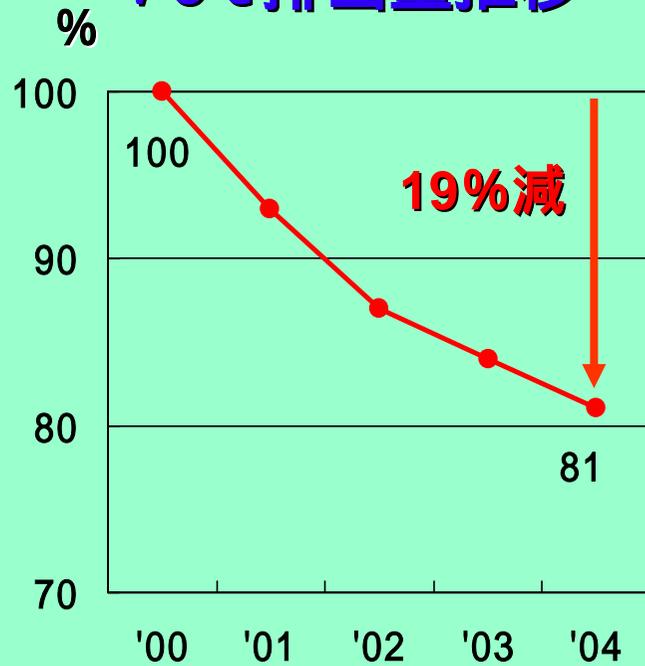


VOCの対策が必要

増やさない (排出量の削減)

塗装面積当り

VOC排出量推移



VOC削減施策

塗装 ブース	・塗着効率向上(ロボット化等) ・使用量削減(洗浄シナー回収等) ・低VOC塗料採用(水性化等)
乾燥炉	・VOC焼却装置採用

塗装スプレー
ロボット



考え方と対応策

考え方	対応策
使わない	<ul style="list-style-type: none">・使用禁止 / 注意物質明確化・新規原材料管理
増やさない	排出量の削減
漏らさない	<ul style="list-style-type: none">・施設 / 作業の管理充実・事故対応訓練
隠さない	情報公開

漏らさない (施設 / 作業の管理、事故対応)

指定施設 (362件)

工程	ｲﾝﾌﾟｯﾄ		アウトプット						
			通常時			非通常時		事故時	
	評価件数	要改善	評価件数	要改善	要維持	評価件数	要維持	評価件数	要維持
地区全体	5	2	10	4	0	0	0	0	0
全体評価計 (A)	5	2	10	4	0	-	-	-	-
圧造工程	46	0	41	0	0	0	0	22	1
車体工程	3 H	203	0	244	0	0	5	0	5
	4 H	44	0	44	0	0	5	0	4
	2 S	243	0	296	0	0	5	0	5
塗装工程	1 S	123	0	138	0	7	29	2	60
	2 S	113	0	122	0	5	28	2	55
組立工程	Y・W・K	79	0	70	0	0	2	0	19
	D	26	0	25	0	0	0	0	6
	2 S	53	0	43	0	0	1	0	13
	4 S	45	0	39	0	0	1	0	9
樹脂工程	成形	10	0	14	0	0	0	0	6
	塗装	113	0	141	0	3	10	0	23
	3 S	8	0	20	0	0	0	0	0

薬品飛散防止壁



初期対応 (事故対応訓練)



事故対応 (雨水の常時遮断水門)



考え方と対応策

考え方	対応策
使わない	・使用禁止 / 注意物質明確化 ・新規原材料管理
増やさない	排出量の削減
漏らさない	・施設 / 作業の管理充実 ・事故対応訓練
隠さない	情報公開

隠さない (情報公開)

日産車体

1. 工場見学 (1.5万人/年)
2. 企業祭 (4万人)
3. 従業員モニター (工場近辺在住者)
4. 地域環境リスクモデル事業参加
5. 環境報告書、HP

6. 環境対話活動

課題: 透明性の向上

ご意見

公開

社会

地域住民

企業祭 (環境コーナー)



4 . 環境対話活動

- ・名称 **環境対話集会in平塚**
- ・目的: **市民の皆さんとの直接対話**
- ・日程: **平成17年3月21日 13:30 ~ 17:00**
- ・参加者: **96名・・・パネラー 17名、傍聴 79名**
(市民、NPO、企業、行政 他)
- ・会場: **日産車体 ゲストホール**
- ・主催: **神奈川県、平塚市、日産車体**

対話集会プログラム

第一部

13:10 ~ 開会
工場紹介ビデオ上映

13:40 ~ 工場見学

14:40 ~ 休憩

第二部

14:50 ~ 平塚市内の化学物質排出状況(県)
環境活動紹介 (日産車体)

15:25 ~ 意見交換会

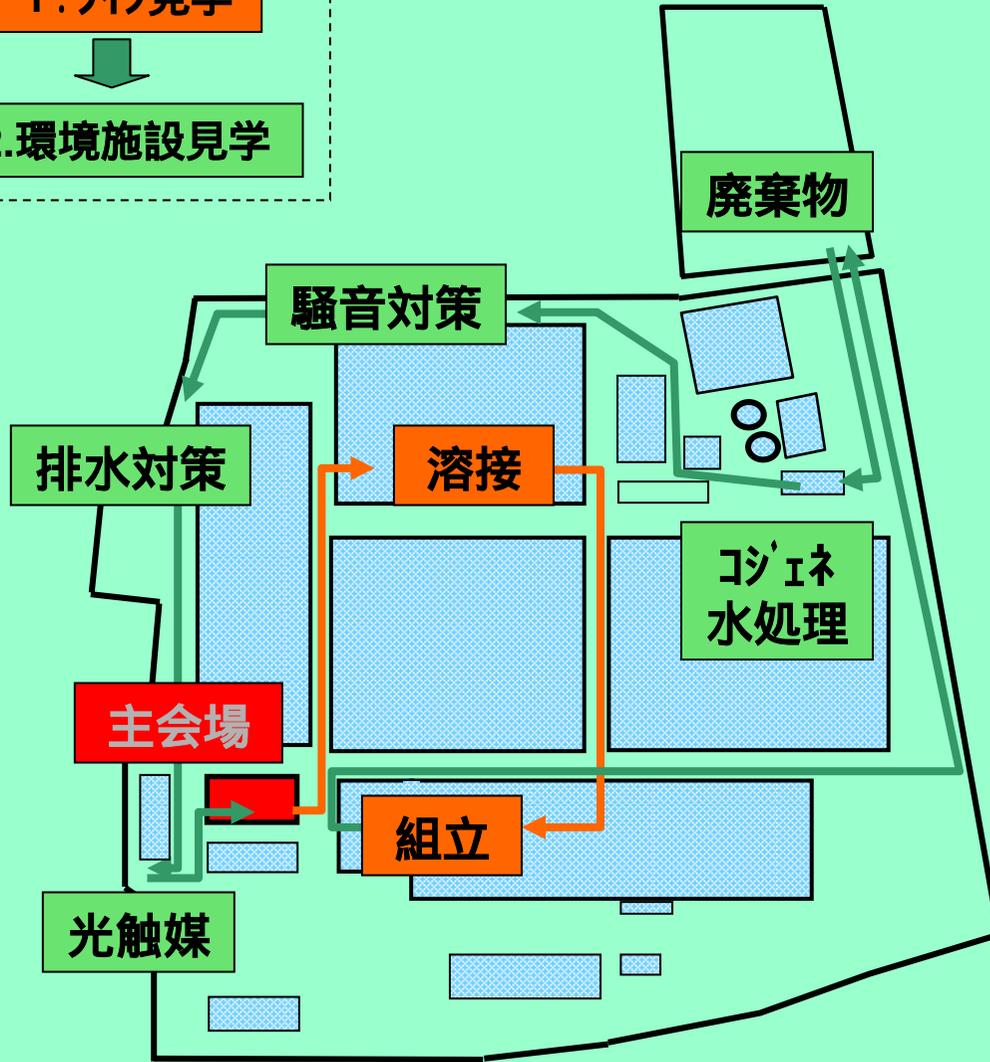
17:00 閉会

工場見学

見学順

1.ライン見学

2.環境施設見学



- ・ありのままに
- ・全て見て頂く

廃棄物分別場



光触媒利用の冷房



日産車体株式会社

対話集会 会場



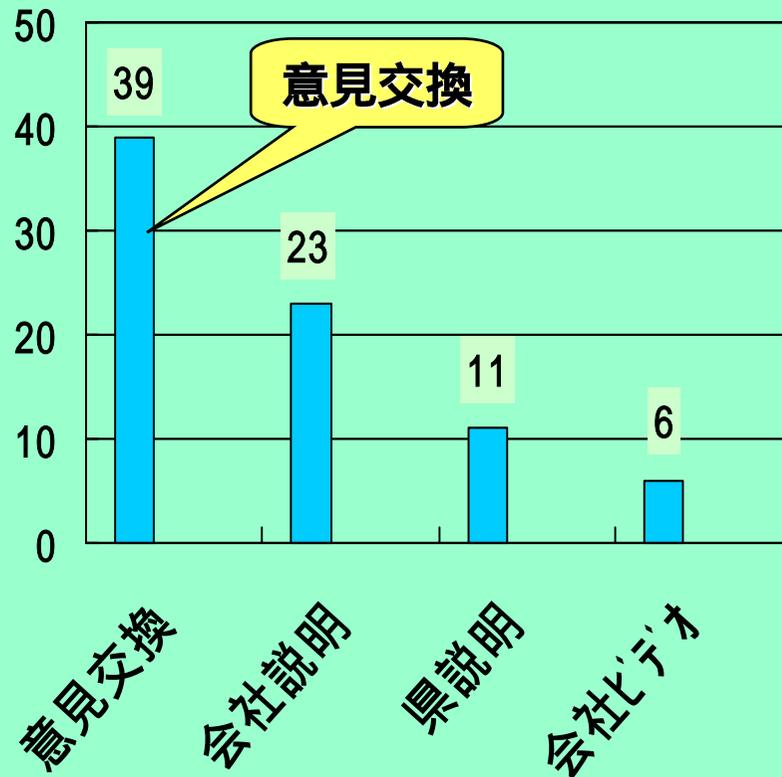
- ・話しやすい
- ・自由な雰囲気



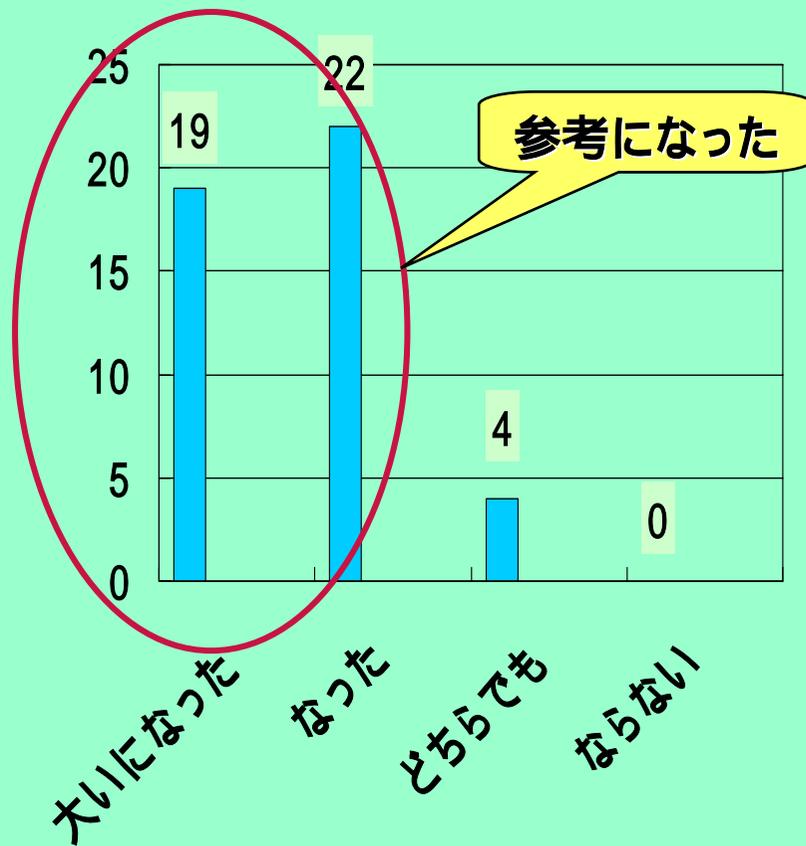
日産車体株式会社

参加者の全体評価

良かったプログラムは？



参考になりましたか？



対話時の意見・要望への対応

意見・要望	対 応
化学物質使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">・水性塗料の採用・塗料 / 溶剤の回収・後処理方法の研究 等
納入車両による環境影響への対応	<ul style="list-style-type: none">・積載率向上による車両削減・運転手休憩場の増設(アイドリング対策)
地域団体等でのリーダーシップ発揮	<ul style="list-style-type: none">・リスコミ活動事例紹介・HP / 環境報告書で活動事例紹介
孫会社への支援	<ul style="list-style-type: none">・孫会社の調査 / 指導

まとめ

都市特有の課題解決を通じて社会貢献

1. 環境技術革新
2. 市民・行政との緊密な連携
3. 情報公開

- 既成概念にとらわれず！
- 良いことは早く！

工場見学時に
対話集会を紹介



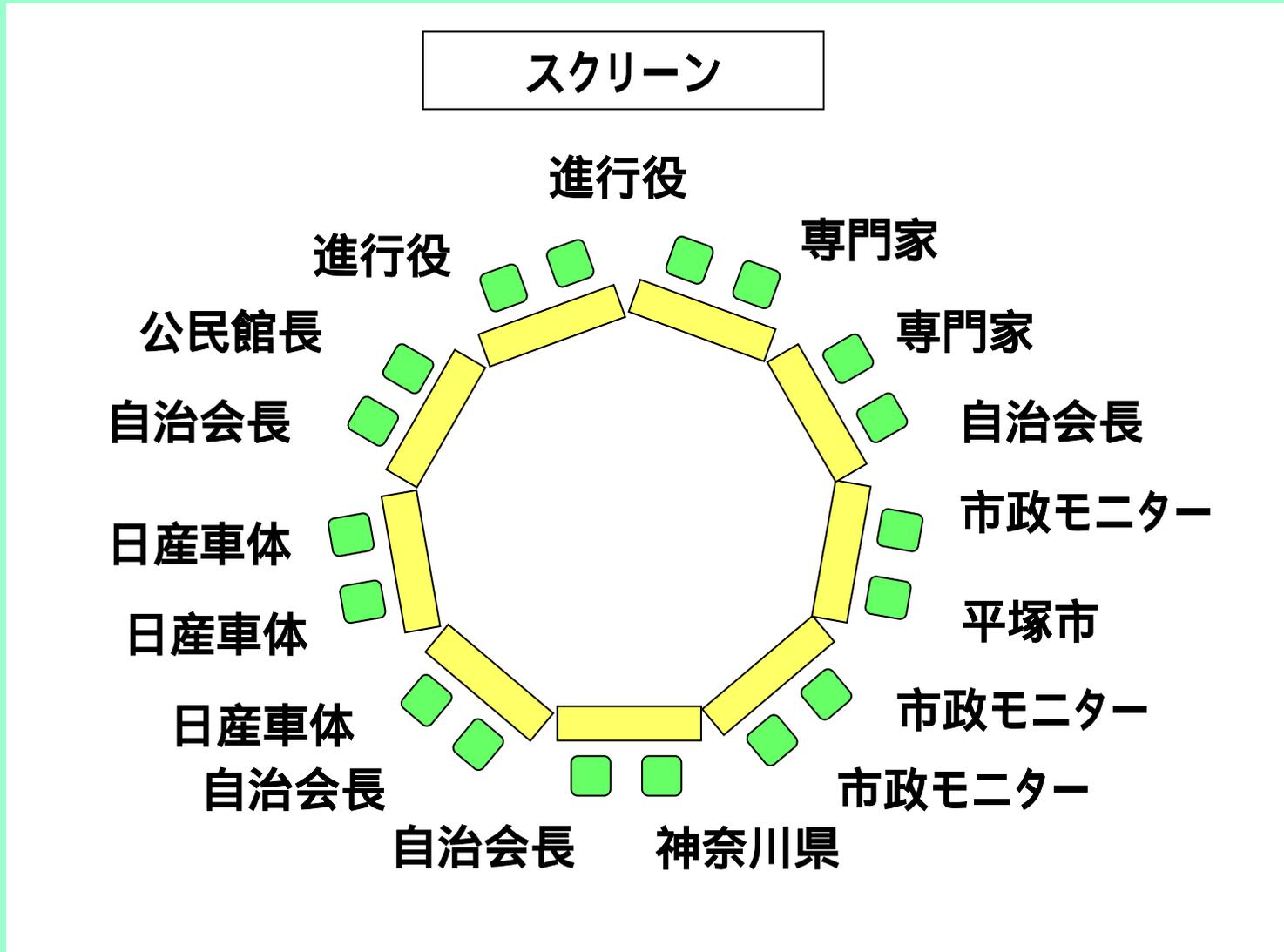
ご清聴有難うございました

次回の対話集会 06年3月21日予定



日産車体株式会社

意見交換者の配席



運営等に対する評価

良い評価

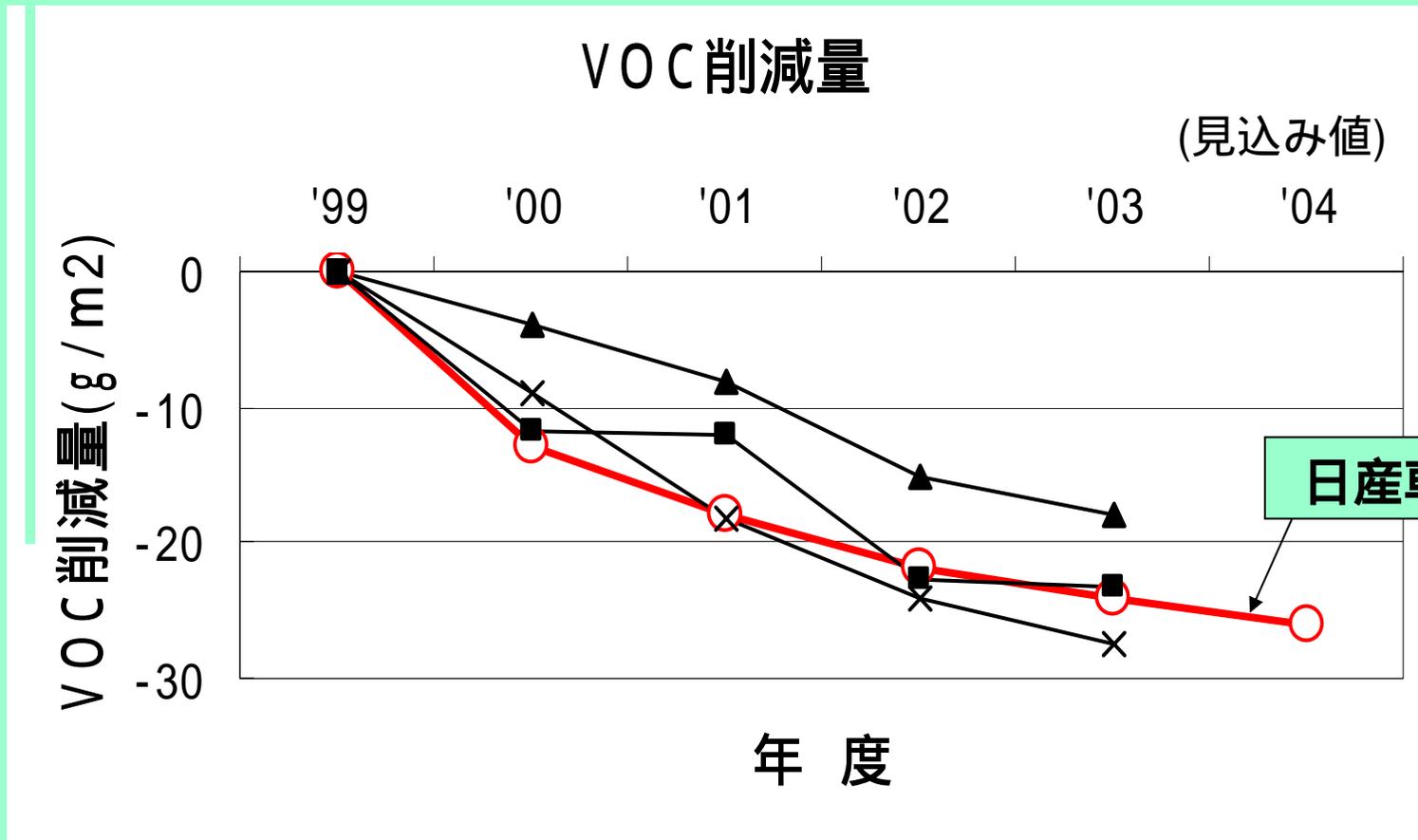
1. ファシリテーターのリードで、論点がボケなかった。
2. 専門家から客観的な評価・判断を聞いた。
3. 住民・行政・企業との話合いが良く出来た。

改善意見

1. 傍聴席からの質問も受けて欲しかった。
2. 行政から、化学物質リスクの説明が欲しかった。
3. 行政は、排出企業に情報提供をもっと行うべきだ。
4. 企業は環境データを長期的に見ることが必要だ。

自動車企業各社のVOC削減量推移

(各社の環境報告書より引用)



日産車体株式会社